
論文概要

●研究成果物

論文タイトル ナッジの射程：とくしま生協におけるフィールド実験
著者 石原卓典^{1), 2)}、室岡健志^{2), 3)}、牛房義明^{2), 4)}、依田高典^{5), 6)}

- 1) 京都先端科学大学国際学術院准教授
- 2) 消費者庁新未来創造戦略本部国際消費者政策研究センター客員主任研究官
- 3) 大阪大学大学院国際公共政策研究科准教授
- 4) 北九州市立大学経済学部教授
- 5) 京都大学大学院経済学研究科教授
- 6) 消費者庁新未来創造戦略本部国際消費者政策研究センター長

●論文要旨

本研究では、2018年から2019年にかけて、とくしま生協の組合員1,963人を対象にフィールド実験を実施した。歩数や運動時間、体重という健康指標に対して、目標提示型のナッジによる効果検証を実施した。また、提示する目標期間を変えることや社会比較による情報を付加することによって効果が異なるか検証を行った。分析の結果、介入のあり／なしだけに着目した場合、いずれのアウトカムに対しても介入の効果は見られなかった。一方でお勧め商品が記載された商品へ反応した人に限ってみてみると、歩数についてのみ効果がみられた。また、介入のうち、どのような内容が特に効果があったのかを検討するため、ブロード／ナロー、リマインダー／社会比較といった介入種別ごとに分けて効果検証を行った。まず、ブロード／ナローに着目すると、介入全体での結果と同様に標本全体では介入効果は見られず、お勧め商品が記載された商品へ反応した人についてのみ、歩数への介入効果がみられた。さらに、リマインダー／社会比較に着目すると標本全体・お勧め商品が記載された商品へ反応した人のどちらについても歩数について社会比較による介入の効果がみられた。